

橿原市が目指す子育て環境

橿原市

一人ひとりの子どもが、心身ともに健やかに成長できるよう、妊娠・出産・子育ての各段階に応じた切れ目のない子育て支援体制の充実強化を図ることで、安心して子どもを産み育てられる環境をつくり、子育て世代に選ばれるまちの実現をめざします。

1 基本データ <県記載>

- ・順位は県内市町村の降順
- ・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）

| 増減率 | 順位 | うち自然増減 | | うち社会増減 | |
|---------------|----|---------------|----|---------------|-----|
| | | 増減率 | 順位 | 増減率 | 順位 |
| ▲1.6% (▲6.2%) | 6位 | +2.6% (▲2.1%) | 4位 | ▲4.1% (▲4.1%) | 12位 |

②合計特殊出生率

| H20～24年（年率） | 順位 | 対H15～19年（年率）増減 | ③有配偶出生率 (15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数) | |
|-------------|----|----------------|--|-----|
| | | | H27年 | 順位 |
| 1.37 (1.29) | 6位 | +0.07 (+0.06) | 74.6 (74.4) | 13位 |

④出生数（人）

| H30年 | ⑤年少人口割合（15歳未満） | | |
|-------------|----------------|----|---------------------|
| | H30年10月 | 順位 | 対25年10月増減 |
| 928 (8,947) | 12.5% (12.0%) | 7位 | ▲1.1ポイント (▲0.7ポイント) |

⑥子育て世代割合（25～44歳）

| H30年10月 | 順位 | 対25年10月増減 |
|---------------|----|---------------------|
| 22.7% (20.7%) | 4位 | ▲3.8ポイント (▲3.8ポイント) |

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 保幼小の接続が大きな柱となっているため、家庭・地域・保育所・幼稚園・小学校・中学校のそれぞれの役割を明確にしながら、小学校への接続が円滑にいくように職員同士の連携が必要。
- ② 放課後児童クラブの利用者の増加に伴い大規模分割等の施設整備が求められているため、幼稚園や小学校の余裕教室の確保に向け、教育委員会と協議を進めていくことが必要。
- ③ 児童虐待相談が増加傾向にあるため、関係機関と情報を共有しながら連携を密にし児童虐待の未然防止等に取り組むことが必要。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方（目指していること）

- ① 子どもの最善の利益を考慮し、子育て支援を提供する環境の充実
- ② すべての子どもが健やかに育つための親と子の健康づくりの推進
- ③ みんなで子育てを見守り、支えあう地域社会の構築

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため「子育て世代包括支援センター」を設置し関係機関と連携を図っている。
- ② 子ども総合支援センターにおいて相談及び乳幼児期の早期療育等を実施し、発達支援体制の充実を図っている。
- ③ 5つのこども園の整備に加え私立保育園1園が認定こども園に移行するなど、公私連携して入所児童の受入れ拡大と待機児童の解消に努めている。

5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 地域で子どもたちが健やかに成長できるよう、地域住民や関係団体、機関との連携を図り、子育てに対する多様な支援の充実を図る。
- ② 少子化や核家族化により家庭の養育力が低下する傾向が見られるなか、「橿原市要保護児童対策地域協議会」を効率的に機能させ関係機関との連携強化を進める。

詳しくは 橿原市ホームページ
<http://www.city.kashihara.nara.jp/>